

質の高い児童通所支援の提供体制の構築について

1 取組の目的・内容

障害児通所支援事業所における支援の質の向上を図るため、専門職等による事業所の巡回支援を行い、一人ひとりに寄り添った療育の提供を目指す。また、事業所向け研修等を実施し、支援の質の向上を図る。

さらに、本取組を保護者にも周知・啓発及び療育の魅力を伝える取組も実施し、こどもを中心とした、家庭・事業所・行政のチームでこどもを支援する体制を市内全体に広げていく。今後、保護者が事業所を選択できるように、事業所の調査結果等を公表することも見据え、取組全体を「あかし療育図鑑」と呼称して、事業を展開している。

2 取組全体の流れ

時期	内容
令和5年 8月 ～12月	有識者会議（学識経験者・福祉関係者・行政）を開催し、巡回支援の実施方法の検討・調査項目・評価基準作成
令和5年 12月	障害児通所支援事業所巡回支援事業（あかし療育図鑑）説明研修会実施「発達障害支援通所事業所に求められるもの」
令和6年 1月 ～3月	障害児通所支援事業所巡回支援事業を実施
令和6年 2月	保護者向けアンケート調査実施
令和6年 4月 ～6月	有識者会議を開催し、報酬改定に伴う変更・令和5年度からの修正点を整理し、評価基準の見直し
令和6年 7月 ～3月	障害児通所支援事業所巡回支援事業を実施
令和7年 2月	障害児通所支援事業所巡回支援事業（あかし療育図鑑）説明研修会実施「発達が気になる子の支援の質の向上のために」
令和7年 3月	研修会実施 明石こどもセンターによる講演

3 保護者向けアンケート調査結果 概要

目 的	保護者の意見や要望、現状のニーズに関して把握
対 象	18歳未満の児童発達支援・放課後等デイサービス利用者
方 法	オンライン調査（希望者へは調査票配布）
配 布	1,984人（児童発達支援 651人、放課後等デイサービス 1,333人）
回 収	882人（44.4%、児童発達支援 296人、放課後等デイサービス 586人）

<調査結果一部抜粋>

- 保護者 「とても満足している」：6割
- こども 「事業所で受ける支援が楽しい」「スタッフのかかわりが良い」
「事業所の友達に会うのが楽しい」「積極的には行きたくない時がある」
- 保護者の困りごと（主なもの）
 - 対人コミュニケーションが苦手
 - 学習面での不安
 - 不注意傾向
 - 興味や行動の偏り（こだわり）
 - 言語能力に不安がある
- 満足していない人の声
 - 「短時間しか療育を受けられない」「こどもにあった支援がなされていない」
 - 「スタッフの対応に改善が必要」「支援内容に改善が必要」「送迎がない」

4 障害児通所支援事業所巡回支援の実施状況

令和6年1月～令和6年3月 21施設実施

令和6年7月～令和7年3月 75施設実施見込

全体の進捗状況

対象数 105施設（児童発達支援 45 放課後等デイサービス 90）

巡回数 96施設（児童発達支援 39 放課後等デイサービス 83）

5 令和7年度の主な取組

- ・ 障害児通所支援事業所巡回支援の継続（新規事業所等）
- ・ 巡回支援による評価結果のフィードバック
- ・ 事業所においてバージョンアップ（質の向上に向けた改善）への取組
- ・ 事業所評価や事業所からのニーズに応じた支援の質の向上に資する研修を実施
- ・ 本事業の周知・啓発及び療育の魅力を伝えるため、保護者向けの講習会を企画予定